

「今月の言葉」二〇一〇年、箱根駅伝を見て過ごした。いわき市出身の東洋大生、柏原竜二君の力に感動。夢を叶えた若者の姿は時として「神」の異名を授かるものだが、彼も又「山の神」と称えられた。すごい子がいわき市から出たものだ。私たちも夢に對する気迫や行動力はどれ程のものだったのか、考えさせられた。夢を叶えるための日々の鍛錬があれば、行動に伸張(奇跡)のような力が宿ることがある。あの日「竜神」が柏原とともに箱根の山を駆け抜けたのか。【文／表紙 遠藤節子】



【絶対の基本理念】 最終目標である「親亡き後の施設」建設に向け、新たな歩みを踏み出した私たちの絶対の基本理念として
明文化し、支援の拠りどころと致します。

無私(私が、私が心のないこと)
愛(大切にする心、思いやる心)
内省(深く自分をかえりみること)

1

月号

2010年1月15日発行
VOL.12 NO.1
(通巻111)

新年明けましておめでとうございます

TSK おりいぶ人



社会福祉法人 ^{あいとく} 愛篤福祉会・^{おりいぶ} 工房阿列布
〒973-8407 いわき市内郷宮町峰根 65-187
TEL.0246-36-3944 FAX.0246-36-3922
e-mail: olive-f@amber.plala.or.jp

千
草
群
像

謹賀新年・27人の文字

遠藤節子 (工房阿列布管理者)

謹賀新年。新年の抱負を1字で職員に書いてもらった。「義」「繋」「恥」「働」「実」「動」「前」「慈」「覚」「尽」「進」「解」「零」「達」「新」「気」「強」「懸」「迫」「善悪」「忍」「志」「美」「平」「希」「省」「迎」の27名。

自ら前向きたろうとする文字の書初めが提出されたが、新鮮なものは瞬時に冷めやすい。鮮度を保つ難しさを知ることこそ、「新鮮」な精神と言える。立てた目標に拘るのは進歩がない証拠、忘れまじと保持曲線を右肩上がりに描くことに意味があり、目標に対する共有意識がその結果を出すことになるだろう。但し、結果の良し悪しに一喜一憂せず、夫夫、内省した1から始める、その諦めないプロセスが自らを鍛え、達成感を味わうことができると私は信じている。

今年は、どのような行動をすべきか、事業所は保護者や利用者の皆さんの負託に応えるべく「親亡き後の施設」事業に着手する年でもある。世情を考えれば難しい局面が山積しているが、越えねばなら

い道でもある。容易くないからやりがいがある。不安や心配を抱える方々が喜ぶであろう福祉を私たちはしなければならぬ。そしてその仕事ができる幸せを感じて行きたい。

しかし、新年早々、現実から目を背けてはいけぬ事件が起きている。火災で高齢者死亡、野犬に襲われ徘徊老人が死亡、介護福祉士による障害者虐待など・・・その現実には余りにも惨い。私たちは「福祉」をテーマに仕事をしている職員でもある。人を「思いやる心」無くしてはこの現場に立てない。

「木を見て森を見ず」という言葉があるが、反して、傍らの木を見てゆくことも大切ではないかと思うこのごろである。一本の木の枯れ方に気がつかなければ、やがて森のあちこちが枯れてゆく現実を見ることになる。そうなるのは「時すでに遅し」である。自らを戒めた今年の一文字、

職員の皆さんの気づき1つで生活者の暮らしが潤うことを心に止めよう。今年もどうぞよろしく。

TSK
おりいぶ人
1部 ¥100
(会員は会費に含む)

毎月15日発行
編集者 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根65-187
社会福祉法人愛篤福祉会 工房阿列布
発行所 〒981-0907
宮城県仙台市青葉区高松1-4-10
東北障害者団体定期刊行物協会

おりいぶ1号館 〒970-1151 いわき市好間町下好間字鬼越24-10 TEL.0246-36-3976・FAX.0246-36-3986
茶房おりいぶ 〒970-8026 いわき市平字中町7-2 TEL・FAX.0246-25-3977

おりーぶ後援会は、工房 阿列布を市民の立場から物心両面で支援するボランティア団体です。

新年のご挨拶



おりーぶ後援会 会長

渡辺 忠行

明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのことと存じます。

今年も多くの保護者、利用者の皆さまの念願である「親」き後の施設建設のためのバックアップを第一の目的として活動をして参りたいと思います。

また、利用者の皆さまが楽しく阿列布に通所出来るようにイベントへの参加等を通じ交流の機会を多く持ちたいと思いますので、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶

工房阿列布保護者会 会長

大谷 武彦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中は、皆様の温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年は、「親」き後の施設「建設」に向け、一步でも前進すべく、保護者会一同努力する所存です。

この施設建設の成功は、多くの他の施設の目標となるものと思います。

経済環境は、まだまだ厳しさが続くものと思いますが、ご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

第2回 おりーぶチャリティーコンサート開催



十二月十二日、いわき芸術文化交流館（アリオス）にて「合歓の瞬間コンサート09」が開催されました。

ヴァイオリン



の美しい調べと津軽三味線の迫力ある演奏に観客の皆さまも聞き入っていました。

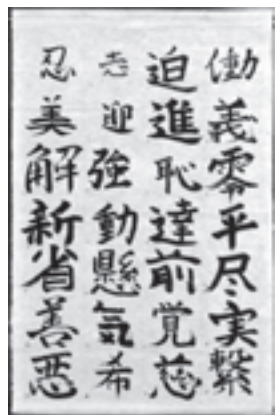
公演の最後には、出演者の皆さまより頂いたコンサートの益金一五〇万円余りが実行委員会

愛篤福祉会理事長に手渡されました。

新年の抱負

平成二十二年のスタートにあたり、職員全員が筆をとり、各個人の今年の目標を漢字一文字にしたためました。

年頭に掲げたこの目標を、各人が達成出来れば、更なるサービス提供の向上に繋がると 생각합니다。



クリスマス会開催



十二月二十三日、工房 阿列布の食堂にてクリスマス会が行われました。今年は一〇〇名余りの皆様にご参加いただき、食堂は超満員。



毎年演奏に来て頂いている「アロハローガンズ」の皆さまによる演奏で会場は大いに盛り上がり、参加者の皆さまと年末の一日、楽しいひと時を過ごしました。

寄附者名簿（物品寄附含む） 平成22年1月

吉田マサ子様、白川順様、おりーぶ後援会様、工房阿列布保護者会様、土屋修二様、平幼稚園様、根本恵子様、いわき中央ライオンズクラブ様、パプテスト教会様、武藤一江様、小林誠子様、遠藤睦子様、塩谷ふみ様、石井好子様、根本とも子様、おりーぶチャリティー実行委員会様、西岡政子様、八幡印刷（株）様、圓谷裕一様、長谷川雅子様、石井企画（株）様、石井マサ子様、田辺るみ子様、田口京子様、小松秀行様、足立久美子様、栗原淳子様、尾口訓様、比佐住江様、星栄治様、渡辺麻美様、タイヤセンターたいら様、根本清勝様、瀧本睦三様、アロハローガンズ様、小野美千江様、半田美江子様、渡辺忠行様、いわき信用組合好間支店様、（株）エーアンドシー様